

高圧ガス関係事故集計
(平成31年4月末現在)

令和元年7月

**表 1 高圧ガス事故統計集計表
(平成31年4月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
1月	65	92	101	122	76	76	53	68	74	66	43
2月	63	71	77	93	62	57	62	61	68	54	52
3月	67	84	167	65	79	62	78	85	62	60	35
4月	59	79	69	60	67	68	80	138	58	61	45
5月	78	69	67	75	64	66	61	81	69	61	0
6月	83	73	81	76	66	68	66	64	65	72	0
7月	75	73	79	112	66	58	70	78	87	171	0
8月	71	87	77	64	73	82	54	84	69	69	0
9月	57	103	150	70	61	54	50	62	56	61	0
10月	67	87	84	77	83	60	68	88	71	79	0
11月	89	67	75	76	76	70	56	69	69	55	0
12月	81	80	56	68	67	74	66	72	76	54	0
合計	855	965	1083	958	840	795	764	950	824	863	175
対前年比 ^{〔注2〕}	0.8	12.9	12.2	▲ 11.5	▲ 12.3	▲ 5.4	▲ 3.9	24.3	▲ 13.3	4.7	▲ 79.7

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注2〕 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成31年のみ集計月までの増減分としている。

**表 1-1 高圧ガス事故統計集計表【災害】
(平成31年4月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
1月	28	31	42	32	32	21	24	45	45	50	42
2月	21	24	27	42	31	32	27	37	44	38	49
3月	21	25	105	26	31	32	46	45	41	44	32
4月	20	32	33	33	27	36	47	47	38	53	40
5月	29	25	33	41	32	31	41	61	45	60	0
6月	41	40	44	42	35	35	47	42	50	70	0
7月	33	33	41	41	37	31	49	55	58	101	0
8月	32	45	44	39	43	45	42	51	51	64	0
9月	23	57	33	34	22	35	20	50	42	54	0
10月	28	43	28	37	43	27	39	58	54	70	0
11月	26	26	38	35	37	30	44	43	48	50	0
12月	25	25	22	27	25	34	37	45	52	49	0
合計	327	406	490	429	395	389	463	579	568	703	163
対前年比 ^{〔注2〕}	▲ 6.6	24.2	20.7	▲ 12.4	▲ 7.9	▲ 1.5	19.0	25.1	▲ 1.9	23.8	▲ 76.8

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【災害】とは、高圧ガス保安法第6条第1項第1号に規定する場合をいう。

〔注2〕 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成31年のみ集計月までの増減分としている。

表 1-2 高圧ガス事故統計集計表【喪失・盗難】
(平成31年4月末現在)

1. 年別及び月別事故(累計) [注1]

年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
1月	37	61	59	90	44	55	29	23	29	16	1
2月	42	47	50	51	31	25	35	24	24	16	3
3月	46	59	62	39	48	30	32	40	21	16	3
4月	39	47	36	27	40	32	33	91	20	8	5
5月	49	44	34	34	32	35	20	20	24	1	0
6月	42	33	37	34	31	33	19	22	15	2	0
7月	42	40	38	71	29	27	21	23	29	70	0
8月	39	42	33	25	30	37	12	33	18	5	0
9月	34	46	117	36	39	19	30	12	14	7	0
10月	39	44	56	40	40	33	29	30	17	9	0
11月	63	41	37	41	39	40	12	26	21	5	0
12月	56	55	34	41	42	40	29	27	24	5	0
合計	528	559	593	529	445	406	301	371	256	160	12
対前年比 [注2]	6.0	5.9	6.1	▲ 10.8	▲ 15.9	▲ 8.8	▲ 25.9	23.3	▲ 31.0	▲ 37.5	▲ 92.5

[注1] 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【喪失・盗難】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第2号に規定する場合をいう。

[注2] 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成31年のみ集計月までの増減分としている。

表2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)

(平成31年4月末現在)

区分		年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
製 造 事 業 所	冷 凍		140	193	272	271	(95) 324	(71)
	コンビナート		48	45	45	44	(15) 86	(17)
	L P		18	17	22	12	(9) 33	(16)
	一 般		72	81	127	136	(35) 157	(40)
	計		278	336	466	463	(154) 600	(144)
移 動			31	24	23	19	(9) 22	(8)
消 費			479	380	445	321	(67) 190	(19)
そ の 他			7	24	16	21	(11) 51	(4)
合 計			795	764	950	824	(241) 863	(175)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-1 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【災害】

(平成31年4月末現在)

区分		年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
製 造 事 業 所	冷 凍		140	193	272	271	(95) 324	(71)
	コンビナート		48	45	45	44	(15) 86	(17)
	L P		18	17	20	11	(8) 28	(16)
	一 般		72	81	126	134	(33) 152	(36)
	計		278	336	463	460	(151) 590	(140)
移 動			31	24	23	18	(8) 20	(7)
消 費			73	83	80	73	(21) 73	(12)
そ の 他			7	20	13	17	(5) 20	(4)
合 計			389	463	579	568	(185) 703	(163)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

区分		年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
製 造 事 業 所	冷 凍		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	コンビナート		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	L P		0	0	2	1	(1) 5	(0)
	一 般		0	0	1	2	(2) 5	(4)
	計		0	0	3	3	(3) 10	(4)
移 動			0	0	0	1	(1) 2	(1)
消 費			406	297	365	248	(46) 117	(7)
そ の 他			0	4	3	4	(6) 31	(0)
合 計			406	301	371	256	(56) 160	(12)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）

(平成31年4月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良			設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計																											
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故		その他	盗難	計																								
平成31年	(6)	(9)	(9)	(24)	(29)	(2)	(10)	(12)	(4)	(1)	(58)	(1)	(2)	(1)	(4)	(17)	(1)	(18)	(1)	(1)	(61)	(8)	(71)	(175)																								
平成30年	(7)	33	(8)	67	(13)	44	(28)	144	(37)	121	(4)	18	(14)	34	(13)	45	(14)	50	(1)	13	(83)	281	(0)	4	(5)	10	(0)	0	(5)	14	(18)	58	(4)	15	(22)	73	(1)	88	(5)	20	(49)	179	(48)	64	(103)	351	(241)	863
平成29年	26	23	43	92	113	29	30	54	39	7	272	0	8	3	11	38	3	41	23	19	161	205	408	824																								
平成28年	28	15	34	77	109	20	41	59	43	10	282	1	13	1	15	43	9	52	84	22	152	266	524	950																								
平成27年	54	10	24	88	93	31	17	31	29	21	222	3	6	1	10	42	6	48	8	17	96	275	396	764																								
平成26年	53	14	20	87	78	19	11	29	26	16	179	0	15	6	21	33	6	39	24	16	85	344	469	795																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-1 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

(平成31年4月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良			設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計																											
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故		その他	盗難	計																								
平成31年	(6)	(9)	(9)	(24)	(29)	(2)	(10)	(12)	(4)	(1)	(58)	(1)	(2)	(1)	(4)	(17)	(1)	(18)	(0)	(1)	(58)	(0)	(59)	(163)																								
平成30年	(7)	33	(8)	67	(13)	44	(28)	144	(37)	121	(4)	18	(14)	34	(13)	45	(14)	50	(1)	13	(83)	281	(0)	4	(5)	10	(0)	0	(5)	14	(18)	58	(4)	15	(22)	73	(1)	17	(5)	20	(41)	154	(0)	0	(47)	191	(185)	703
平成29年	26	23	43	92	113	29	30	54	39	7	272	0	8	3	11	38	3	41	3	19	130	0	152	568																								
平成28年	28	15	34	77	109	20	41	59	43	10	282	1	13	1	15	43	9	52	8	22	123	0	153	579																								
平成27年	54	10	24	88	93	31	17	31	29	21	222	3	6	1	10	42	6	48	4	17	74	0	95	463																								
平成26年	53	14	20	87	78	19	11	29	26	16	179	0	15	6	21	33	6	39	6	16	41	0	63	389																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-2 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良			設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計							
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故		その他	盗難	計				
平成31年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(3)	(8)	(12)	(12)				
平成30年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(8)	25	(48)	64	(56)	160	(56)	160
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	31	205	256					
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	29	266	371					
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	22	275	301					
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	44	344	406					

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)

(平成31年4月末現在)

業種 年	石油		一般		冷凍		充填所		容器		その他		合計
	精製	化学	化学	化学	事業所	事業所		検査所	検査所				
平成31年	(4)	(5)	(10)	(71)	(0)	(0)	(54)	(144)					
平成30年	(4) 39	(6) 32	(9) 33	(95) 324	(4) 24	(1) 1	(35) 147	(154) 600					
平成29年	22	12	25	271	9	1	123	463					
平成28年	19	11	26	272	13	2	123	466					
平成27年	16	10	21	193	8	0	88	336					
平成26年	17	11	20	140	6	1	83	278					

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-1 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【災害】

(平成31年4月末現在)

業種 年	石油		一般		冷凍		充填所		容器		その他		合計
	精製	化学	化学	化学	事業所	事業所		検査所	検査所				
平成31年	(4)	(5)	(10)	(71)	(0)	(0)	(50)	(140)					
平成30年	(4) 39	(6) 32	(9) 33	(95) 324	(3) 17	(1) 1	(33) 144	(151) 590					
平成29年	22	12	25	271	9	1	120	460					
平成28年	19	11	26	272	11	2	122	463					
平成27年	16	10	21	193	8	0	88	336					
平成26年	17	11	20	140	6	1	83	278					

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-2 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

業種 年	石油		一般		冷凍		充填所		容器		その他		合計
	精製	化学	化学	化学	事業所	事業所		検査所	検査所				
平成31年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(4)					
平成30年	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 7	(0) 0	(2) 3	(3) 10					
平成29年	0	0	0	0	0	0	3	3					
平成28年	0	0	0	0	2	0	1	3					
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0					
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0					

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 6 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)

(平成31年4月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成31年	(2)	(0)	(6)	(8)
平成30年	(3) 8	(2) 4	(4) 10	(9) 22
平成29年	7	1	11	19
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24
平成26年	11	1	19	31

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る

表 6-1 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【災害】

(平成31年4月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成31年	(2)	(0)	(5)	(7)
平成30年	(3) 8	(1) 2	(4) 10	(8) 20
平成29年	6	1	11	18
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24
平成26年	11	1	19	31

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る

表 6-2 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成31年	(0)	(0)	(1)	(1)
平成30年	(0) 0	(1) 2	(0) 0	(1) 2
平成29年	1	0	0	1
平成28年	0	0	0	0
平成27年	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る

表7 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成31年4月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計	
平成31年	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(2)	(1)	(3)	(8)	
平成30年	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(2)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(2)	3	(1)	4	(9)
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	6	0	0	12	
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23	
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24	
平成26年	6	0	1	7	0	1	2	1	0	5	9	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	0	14	31	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-1 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成31年4月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計	
平成31年	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)	(7)	
平成30年	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(2)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(2)	3	(1)	1	(3)	4	(8)
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	5	0	0	11	
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23	
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24	
平成26年	6	0	1	7	0	1	2	1	0	5	9	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	0	14	31	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-2 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成31年4月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計	
平成31年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	
平成30年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	2	(1)
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 8 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)

(平成31年4月末現在)

種類 年	アセチ レン		L P ガ ス		塩 素		酸 素		特殊高 圧ガス		その他		合 計
平成31年	(1)		(12)		(0)		(2)		(0)		(4)		(19)
平成30年	(9)	19	(38)	109	(1)	1	(3)	17	(1)	1	(15)	43	(67) 190
平成29年		28		258		1		12		0		22	321
平成28年		34		376		1		13		1		20	445
平成27年		40		305		0		11		1		23	380
平成26年		46		404		1		15		1		12	479

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表 8-1 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【災害】

(平成31年4月末現在)

種類 年	アセチ レン		L P ガ ス		塩 素		酸 素		特殊高 圧ガス		その他		合 計
平成31年	(0)		(9)		(0)		(1)		(0)		(2)		(12)
平成30年	(4)	10	(9)	33	(1)	1	(1)	9	(1)	1	(5)	19	(21) 73
平成29年		13		40		1		4		0		15	73
平成28年		16		41		1		7		1		14	80
平成27年		21		39		0		4		1		18	83
平成26年		19		40		1		2		1		10	73

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガスによる災害の場合は、アセチレンによる災害としている。

表 8-2 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

種類 年	アセチ レン		L P ガ ス		塩 素		酸 素		特殊高 圧ガス		その他		合 計
平成31年	(1)		(3)		(0)		(1)		(0)		(2)		(7)
平成30年	(5)	9	(29)	76	(0)	0	(2)	8	(0)	0	(10)	24	(46) 117
平成29年		15		218		0		8		0		7	248
平成28年		18		335		0		6		0		6	365
平成27年		19		266		0		7		0		5	297
平成26年		27		364		0		13		0		2	406

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表9 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）

(平成31年4月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良			設備の維持管理の不良								組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他					合計																					
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																				
平成31年	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)	(1)	(1)	(9)	(3)	(14)	(19)																				
平成30年	(0)	1	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(2)	7	(3)	7	(1)	1	(0)	2	(6)	18	(0)	0	(1)	2	(0)	0	(1)	2	(2)	11	(1)	9	(3)	20	(1)	50	(3)	11	(10)	31	(43)	57	(57)	149	(67)	190
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	22	11	52	202	287	321																				
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	76	12	51	264	403	445																				
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	6	6	42	273	327	380																				
平成26年	0	0	0	0	1	0	7	6	0	8	22	0	3	1	4	13	5	18	23	7	60	345	435	479																				

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-1 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

(平成31年4月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良			設備の維持管理の不良								組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他					合計																					
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																				
平成31年	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)	(6)	(0)	(7)	(12)																				
平成30年	(0)	1	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(2)	7	(3)	7	(1)	1	(0)	2	(6)	18	(0)	0	(1)	2	(0)	0	(1)	2	(2)	11	(1)	9	(3)	20	(1)	5	(3)	11	(7)	16	(0)	0	(11)	32	(21)	73
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	2	11	26	0	39	73																				
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	1	12	25	0	38	80																				
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	2	6	22	0	30	83																				
平成26年	0	0	0	0	1	0	7	6	0	8	22	0	3	1	4	13	5	18	5	7	17	0	29	73																				

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-2 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良			設備の維持管理の不良								組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他					合計							
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計						
平成31年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(3)	(3)	(7)	(7)						
平成30年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	45	(0)	0	(3)	15	(43)	57	(46)	117	(46)	117
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	26	202	248	248						
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	26	264	365	365						
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	20	273	297	297						
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	43	345	406	406						

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)

(平成31年4月末現在)

年	取扱状態		ごみ		容器等の		放 置		その他		合 計
	年	処理中	くず化	容器	容器	その他	その他	合 計			
平成31年		(0)	(0)	(0)	(4)	(4)					
平成30年	(0)	0	(1)	3	(0)	0	(10)	48	(11)	51	
平成29年		0		3		1		17		21	
平成28年		0		1		1		14		16	
平成27年		0		0		0		24		24	
平成26年		0		3		0		4		7	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-1 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【災害】

(平成31年4月末現在)

年	取扱状態		ごみ		容器等の		放 置		その他		合 計
	年	処理中	くず化	容器	容器	その他	その他	合 計			
平成31年		(0)	(0)	(0)	(4)	(4)					
平成30年	(0)	0	(1)	3	(0)	0	(4)	17	(5)	20	
平成29年		0		3		1		13		17	
平成28年		0		1		1		11		13	
平成27年		0		0		0		20		20	
平成26年		0		3		0		4		7	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-2 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

年	取扱状態		ごみ		容器等の		放 置		その他		合 計
	年	処理中	くず化	容器	容器	その他	その他	合 計			
平成31年			(0)		(0)		(0)		(0)	(0)	
平成30年			(0)	0	(6)	31	(6)	31	(6)	31	
平成29年				0				4		4	
平成28年				0				3		3	
平成27年				0				4		4	
平成26年				0				0		0	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11 現象別区分による分析(最近6年間)

(平成31年4月末現在)

年 現象	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	3	0	1	7	0	5	7	0	6	4	0	4	(4) 6	(0) 0	(3) 4	(3)	(0)	(3)
火 災	20	0	2	7	0	1	10	0	2	5	0	4	(4) 12	(0) 0	(1) 4	(7)	(0)	(1)
噴出漏洩	352	2	59	421	2	44	536	1	35	542	1	34	(171) 654	(0) 0	(8) 43	(127)	(0)	(18)
破裂・破壊	12	0	3	20	0	8	17	1	8	10	0	2	(2) 15	(0) 0	(0) 2	(18)	(0)	(1)
その 他	408	1	8	309	0	10	380	2	0	263	0	2	(60) 176	(0) 0	(1) 12	(20)	(0)	(4)
合 計	795	3	73	764	2	68	950	4	51	824	1	46	(241) 863	(0) 0	(13) 65	(175)	(0)	(27)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-1 現象別区分による分析(最近6年間)【災害】

(平成31年4月末現在)

年 現象	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	3	0	1	7	0	5	7	0	6	4	0	4	(4) 6	(0) 0	(3) 4	(3)	(0)	(3)
火 災	20	0	2	7	0	1	10	0	2	5	0	4	(4) 12	(0) 0	(1) 4	(7)	(0)	(1)
噴出漏洩	352	2	59	421	2	44	536	1	35	542	1	34	(171) 654	(0) 0	(8) 43	(127)	(0)	(18)
破裂・破壊	12	0	3	20	0	8	17	1	8	10	0	2	(2) 15	(0) 0	(0) 2	(18)	(0)	(1)
その 他	2	1	8	8	0	10	9	2	0	7	0	2	(4) 16	(0) 0	(1) 12	(8)	(0)	(4)
合 計	389	3	73	463	2	68	579	4	51	568	1	46	(185) 703	(0) 0	(13) 65	(163)	(0)	(27)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-2 現象別区分による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成31年4月末現在)

年 現象	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発																		
火 災																		
噴出漏洩																		
破裂・破壊																		
その 他	406	0	0	301	0	0	371	0	0	256	0	0	(56) 160	(0) 0	(0) 0	(12)	(0)	(0)
合 計	406	0	0	301	0	0	371	0	0	256	0	0	(56) 160	(0) 0	(0) 0	(12)	(0)	(0)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表11 現象別区分による分析（最近6年間）

（平成31年4月末現在）

年 現象	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年						
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者				
爆 発	3	0	1	7	0	5	7	0	6	4	0	4	(4)	6	(0)	0	(3)	4	(3)	(0)	(3)	
火 災	20	0	2	7	0	1	10	0	2	5	0	4	(4)	12	(0)	0	(1)	4	(7)	(0)	(1)	
漏 え い	漏えい①	171	0	2	220	0	4	244	0	2	274	0	4	(93)	340	(0)	0	(0)	13	(81)	(0)	(13)
	漏えい②	85	2	29	102	0	3	176	0	18	160	0	10	(43)	203	(0)	0	(4)	11	(29)	(0)	(1)
	漏えい③	96	0	28	99	2	37	116	1	15	108	1	20	(35)	109	(0)	0	(4)	19	(16)	(0)	(4)
計	352	2	59	421	2	44	536	1	35	542	1	34	(171)	652	(0)	0	(8)	43	(126)	(0)	(18)	
破裂・破壊	12	0	3	20	0	8	17	1	8	10	0	2	(2)	15	(0)	0	(0)	2	(18)	(0)	(1)	
そ の 他	408	1	8	309	0	10	380	2	0	263	0	2	(60)	176	(0)	0	(1)	12	(20)	(0)	(4)	
合 計	795	3	73	764	2	68	950	4	51	824	1	46	(241)	861	(0)	0	(13)	65	(174)	(0)	(27)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

別表11-1 現象別区分による分析（最近6年間）【災害】

（平成31年4月末現在）

年 現象	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年						
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者				
爆 発	3	0	1	7	0	5	7	0	6	4	0	4	(4)	6	(0)	0	(3)	4	(3)	(0)	(3)	
火 災	20	0	2	7	0	1	10	0	2	5	0	4	(4)	12	(0)	0	(1)	4	(7)	(0)	(1)	
漏 え い	漏えい①	171	0	2	220	0	4	244	0	2	274	0	4	(93)	340	(0)	0	(0)	13	(81)	(0)	(13)
	漏えい②	85	2	29	102	0	3	176	0	18	160	0	10	(43)	203	(0)	0	(4)	11	(29)	(0)	(1)
	漏えい③	96	0	28	99	2	37	116	1	15	108	1	20	(35)	109	(0)	0	(4)	19	(16)	(0)	(4)
計	352	2	59	421	2	44	536	1	35	542	1	34	(171)	652	(0)	0	(8)	43	(126)	(0)	(18)	
破裂・破壊	12	0	3	20	0	8	17	1	8	10	0	2	(2)	15	(0)	0	(0)	2	(18)	(0)	(1)	
そ の 他	2	1	8	8	0	10	9	2	0	7	0	2	(4)	16	(0)	0	(1)	12	(8)	(0)	(4)	
合 計	389	3	73	463	2	68	579	4	51	568	1	46	(185)	701	(0)	0	(13)	65	(162)	(0)	(27)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

表12 人的被害の推移(最近6年間)

(平成31年4月末現在)

区分 年	人身事 故件数	死 亡 (名)	重 傷 (名)	軽 傷 (名)	死傷者 合 計
平成31年	(14)	(0)	(3)	(24)	(27)
平成30年	(12) 44	(0) 0	(2) 11	(11) 54	(13) 65
平成29年	37	1	9	37	47
平成28年	40	4	7	44	55
平成27年	50	2	12	56	70
平成26年	31	3	9	64	76

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13 事故等級別事故発生件数(最近6年間)
(平成31年4月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
平成31年	(0)		(6)		(169)		(175)	
平成30年	(0)	0	(1)	17	(240)	846	(241)	863
平成29年	0		10		814		824	
平成28年	0		11		939		950	
平成27年	0		41		723		764	
平成26年	0		44		751		795	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-1 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【災害】
(平成31年4月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
平成31年	(0)		(6)		(157)		(163)	
平成30年	(0)	0	(1)	17	(184)	686	(185)	703
平成29年	0		10		558		568	
平成28年	0		11		568		579	
平成27年	0		41		422		463	
平成26年	0		44		345		389	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-2 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【喪失・盗難】
(平成31年4月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
平成31年	(0)		(0)		(12)		(12)	
平成30年	(0)	0	(0)	0	(56)	160	(56)	160
平成29年	0		0		256		256	
平成28年	0		0		371		371	
平成27年	0		0		301		301	
平成26年	0		0		406		406	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13 事故等級別事故発生件数

(平成31年4月末現在)

年	級 A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
平成31年	(0)	(1)	(5)		(39)	(130)	(175)
平成30年	(0) 0	(0) 2	(1) 15		(36) 117	(204) 729	(241) 863
平成29年	0	2	8		105	709	824
平成28年	0	6	5		109	830	950
平成27年	0	5	36	723			764
平成26年	0	7	37	751			795

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13-1 事故等級別事故発生件数【災害】

(平成31年4月末現在)

年	級 A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
平成31年	(0)	(1)	(5)		(39)	(118)	(163)
平成30年	(0) 0	(0) 2	(1) 15		(36) 117	(148) 569	(185) 703
平成29年	0	2	8		105	453	568
平成28年	0	6	5		109	459	579
平成27年	0	5	36	422			463
平成26年	0	7	37	345			389

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。